



目指せ！健康あいらんど久米島



今号では「子宮頸がん検診」と「乳がん検診」についてお伝えします。

がん検診を定期的を受診することで、早期発見・早期治療につながります。

11月に子宮頸がん・乳がん検診を予定しています。詳しくは今後、対象者へ送付される通知をご確認ください。

	子宮頸がんについて	乳がんについて
がんにかかりやすい年代、原因やリスク要因など	<ul style="list-style-type: none"> ・20代後半～30代女性で増加傾向 ・ヒトパピローマウイルス（HPV）の感染が関連している。HPVウイルスは200種類以上あり、子宮頸がんの原因となるHPVの代表は16型と18型である。 ・HPV感染者のほとんどは一過性の感染で2～3年以内に自然消失する。ごく一部で感染が持続し、数年以上の長い年月をかけて子宮頸がんとなる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・30代後半から増加し始め、40代後半から50代前半でピーク。60代前半で再びピークを迎える傾向にある。 ・原因ははっきりと解明されていない。 性ホルモンの1つであるエストロゲン（卵胞ホルモン）は乳がんのがん細胞を増殖させることが知られている。体内でのエストロゲンレベルが高いことが乳がんの発生と進行に影響を及ぼしている可能性がある。 主なリスク要因：初経年齢が早い、閉経が遅い、出産歴なし、初産年齢が遅い、授乳歴がない、閉経後の肥満、飲酒習慣、一親等の乳がん家族歴など
検診について	<ul style="list-style-type: none"> ・20歳以上で症状のない方で2年に1度の受診を推奨。 ・検診方法は問診、細胞診（先にブラシのついた専用器具で子宮頸部をこすって細胞をとる） 	<ul style="list-style-type: none"> ・40歳以上で症状のない方で2年に1度の受診を推奨。 ・検診方法は問診、マンモグラフィ検査（40歳未満の方へは超音波検査を実施）
その他	<p>厚生労働省では、ヒトパピローマウイルス（HPV）ワクチン接種での感染予防を推奨。（ただしこのワクチンで感染を予防できないHPVもある。また、すでに生じている病変を治療することはできない。）</p> <p>★HPVワクチン接種については福祉課へお問い合わせください。</p>	<p>ブレスト・アウェアネス（乳房を意識する生活習慣）で日頃から関心をもつ。 ブレスト・アウェアネス4つのポイント</p> <ol style="list-style-type: none"> ①自分の乳房の状態を知る ②乳房の変化に気をつける ③変化に気づいたらすぐ医師へ相談する ④40歳になったら2年に1回乳がん検診を受ける
	<p>婦人検診を受けることに恥ずかしさを感じる方もいるかもしれませんが、自分の身体が健康であるかどうかを確認できる機会です。今年度、婦人検診対象の多くの方の受診をお待ちしています。</p>	



お知らせ！

がんの治療等で島外医療機関へ通院する際の渡航費の一部助成事業を行っています。助成を受けるには医師による意見書の提出が必要です。事業に関する詳細は福祉課までお問い合わせください。

参考：厚生労働省、日本医師会、国立がん研究センターのホームページなど

【お問合せ】 久米島町役場 福祉課 ☎985-7124